

AJU 愛光園だより

～私たちは、誰もが人間としての尊厳が保たれ、安心して共に生きる社会をめざします～



編集者:社会福祉法人 愛光園 企画総務部
愛知県知多郡東浦町緒川東米田33番3
TEL 0562-83-9835 FAX 0562-83-4344
URL <http://www.aikouen.jp/> E-mail honbu@aikouen.jp

第173号

「つながりの中で育ち、 つながりの中で支える」

大府市発達支援センターおひさま 遠藤 未来

愛フェスでギターの弾き語りをさせていただいた息子は、今年14歳を迎えました。1歳児より発達支援センターおひさまに3年半お世話になった経緯があります。当時、医療に繋がっていきたい思いを漠然と持っていたはいましたが、私たちのような家族を支えてくれる分野に【福祉】があることを、この『おひさま』が教えてくれました。先生方は、いつだって息子を丸ごと包み込んで下さいました。“ぼくは、ぼくのままでいいんだ”という大切なベースを育んで下さったことで、自分のペースを大事にしながら成長することが出来ています。保護者として、その姿を見守るうちに「こんな風に寄り添える仕事って、素敵だな」と思うようになり、今、私自身もおひさまの職員としてお世話になっています。そして、出会う保護者の方の素敵なお子さんへの関わりをこっそり試しています。私には母親業は難しく、教えていただくことばかりなのです。

今回、息子はひた向きに練習に取り組んでいました。ギターを教えて下さったのも、当日まで様々な形で応援して下さいったのも、おひさまの先生方です。ステージで堂々と歌う息子は、支援を受けていた小さなあの頃の彼からは想像出来ないほどの成長で、「あの時間が確かに今、つながっているんだ」と感じる瞬間でした。息子に関わる全ての人に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、こんなにも素敵に育ってくれた息子にも伝えたいです。「本当にありがとう。」

支援を受けていた立場から支援を届ける立場になりましたが、かつて支えてもらった時間こそが今の私の原動力になっています。保護者としての経験をポジティブに捉えて、子ども達やご家族に寄り添える支援者になれるように、今後も努めていきたいと思っています。



遠藤 福大(ふく)さん (写真中央)

僕がギター演奏をした理由は、去年の誕生日から始まってギターを買ってもらった日、僕は練習して毎日弾いていたけど、コードの1つ1つが僕の指に合わなくて大変でした。

愛フェスでやった「家族になろうよ」は、コードの切りかえが難しくて大変でした。でも、あきらめたくなかった自分のプライドがあったので、朝も夜もがんばって練習しました。

そして、本番の弾きがたりで自分の番になったとき、いろんな人から『笑顔』が大切だよ。」といったのを思い出し、勇気を出して声を出しました。弾いて終わった後、みんなはかんせいを上げていました。それで僕はやっと「社会の一員」になれた気がしました。

僕は、今くじけている人達に「メッセージ」があります。僕は、昔何もうまくいきませんでした。「キモい」「ゴミ」と影で言われてきてしまいました。でも、これで終わりたくなかったから、がんばって「やさしさ」や「思いやり」を持ち、ファッションなども勉強していきました。今は、うまくは行ってないものの、少しはよくなりました。今、どんどこに落ちても社会は教えてくれないかもしれない。でも、未来の自分が教えてくれるから。「笑顔は世界を救う」とエールを送ります。



地域交流委員会実行委員長 皿井常之

11月3日、2年ぶり2回目となる「愛フェス」を開催しました。開始直前には雨が降り出し一時は不安もよぎりましたが、皆さんの熱意が天に届いたのか、天候は回復。愛光園エイトリーズのオープニングアクトを皮切りに、クラウンチョクさんのバルーンパフォーマンス、おひさま職員によるギター演奏、事業所対抗玉入れ大会など、会場は大いに盛り上がり笑顔と拍手に包まれました。出店にはサンライズヒルさん、コーチン亭さん、COMMON珈琲さん、TSUBOYAKI-IMO Mili Miliさん、MORImam'さん、愛光園仲間の店、のぞみの家駄菓子屋、ひかりのさとファームが参加。デンソーさんによるボッチャ体験、中部大学第一高校少林寺拳法部さん・香具山道院さんのボランティア、大学生のインターン協力もあり、地域とつながる温かな一日となりました。参加いただいた皆様と実行委員の皆さんの尽力に心より感謝し、これから「愛フェス」が地域に根差すイベントとして育っていくことを願っています。

阿久比町立もちの木園 田中孝典

昨年は雨で中止となり、一年越しのリベンジとなった2025愛フェスを無事開催でき本当に嬉しく思います。実行委員で何度も話し合いを重ね、「事業所対抗玉入れ大会」や「箱の中身はなんだろう？」など、誰もが参加しやすい内容となり大盛況でした。初めて実行委員に仲間入りしたメンバーが積極的に意見を出してくれたことも大きな喜びでした。地域の方々や学生ボランティアの協力もあり、笑顔があふれる温かい一日となりました。今後は少しずつ規模を広げ、もっと多くの人に楽しんでもらえる愛フェスにしていきたいです。

大府市発達支援センターおひさま 牧野朱夏

今年で2回目の開催となった愛フェス。私も実行委員として2回目の愛フェスでした。今回の愛フェスでは、色々な場面で人との"繋がり"を感じました。久しぶりに会う利用者さんや同期、初めて会う他事業の利用者さんや地域の方、多くの方とその場を共有し、イベントを楽しめました。イベントが始まる時、あいにくの雨が降りましたが、雨上がり、空を見上げると大きな虹が出ていました。虹は幸運の象徴であり、また多様な人々が共に生き、繋がっていくことの意味合いもあると言われています。皆で空を見上げて「綺麗ですね」と言葉を交わしたあの瞬間は、その日私の中でも印象に残っています。その場にいた皆が同じ気持ちを共有できましたし、空が与えてくれた心温まる機会だったと思います。

知多地域障害者生活支援センターらいふ、山口直人

今回、地域交流実行委員として活動するのは2回目でした。1回目は1年目だったということもありあまり積極的に動くことができませんでした。今年、愛フェスでは積極的に考えて意見を出したりしてできたので2年前よりは貢献できたのではないかと感じています。愛フェス当日は、普段、移動支援や身体介護で関わることが多い利用者様の自分が関わる姿とは別の一面を見ることができとてもよかったと思いました。さらには来てくださる人たちが楽しそうにしていたり、ボランティアに来てくれた方々も楽しそうにお手伝いをしてくださる姿を見て時間をかけて協力して準備ができてとてもよかったなと思います。また、来年も地域交流委員で活動したいと思っています。



地域生活支援センターりんく 田口萌実

「箱の中はなんだろう」のゲームのブースを担当しました。ゲームをやりに来てくださった方や見ている観客の方に楽しんでもらうためにどうしたら盛り上がるのか箱の中に物を入れてデモンストレーションを行ったり、箱の中に何を入れるのかを模索しました。箱の中に入れるものの量があまり集まらず楽しんでもらえるか愛フェスが始まる前は少し不安に感じました。愛フェスが始まると少しずつブースに来てくれる人が増えてゲームに挑戦する人に周りで見てる方がヒントを伝えていたり、箱の中身を当てて笑顔浮かべて見えて皆さん楽しませていました。3回ゲームに遊びに来てくれる方も見えました。愛フェスに初めて委員で参加して不安な事は多かったですが、障害がある方も障害がない方も皆さん笑顔で同じものを楽しんでいるのはとても素敵なことだと改めて感じました。

ひかりのさとファーム 大山夢叶

肌寒い気候ではありましたが、天気に恵まれ無事に開催できて本当に良かったです。当日は想像していた以上に多くの方にご来場いただき、会場全体が活気にあふれていました。準備の段階から当日まで、委員一同で協力し合いながら進めることができたことで、無事に成功につなげることができたと思います。当日はご利用者の皆さんの笑顔がたくさん見られ、私自身もとても嬉しい気持ちになりました。今回のお祭りを通して、地域の方々や法人内の交流の大切さを改めて感じました。これからもこうした繋がりの場を大切にしていきたいです。

ひかりのさとのおみの家 木村実玖

今回の愛フェスを経験して報連相や連携の大切さを改めて学び、事業所や法人全体の温かさを感じ、自身の振り返りを行う機会となりました。相談中に準備が足りていないことが発覚したり前日にトラブル発生したりと慌ただしくおりましたが、職員さんや住人さんに力や知恵、時間をお借りし準備を進めることができました。実は3日くらい前に熱帯低気圧がある話を天気予報でやっており、住人さんと雨降らないか不安でしたが、愛フェスが開催され、終わった後に住人さんから「楽しかったよ!いっぱい買った!」と嬉しそうに報告して下さり、他の住人さんも笑顔が見られ、大変なこともありつつ楽しい愛フェスでした。愛フェスが終わるまで心配や不安が大きくなりましたが、住人さんやご家族さん、職員、地域の方のご協力あって開催できたものだと思います。ご協力ありがとうございました。

知多地域障害者生活支援センターらいふ、市瀬珠恵

入職してから初めての愛フェスでした。最初は「どんなイベントなんだろう」と分からないことが多かったですが、委員会に参加して実際に愛フェスを見たら、「利用者さんご家族、地域の方や職員が笑顔で参加してる素敵なイベント」だと感じました。参加してる方や委員会の方全てが笑顔で楽しく過ごしていました。イベントでも「共に」という理念の印象を感じました。また、ボランティアの高校生の方たちは元気が良くて、力が必要なことも返事もとにかく元気でした。色々な方たちの笑顔や元気を感ずることができて、とても素敵な愛フェスだと思いました。来年も、これからも委員会に参加して考案したり携わることが出来たら良いなと思いました。

上映会のご案内



日 時：2025年12月14日（日）10時～12時
会 場：愛三文化会館（大府市勤労文化会館）
住 所：愛知県大府市明成町1-330
後 援：大府市、東浦町
協 賛：ひかりのさととの会

※入場無料・申込不要

お問い合わせ：愛光園企画総務部 0562-83-9835

第20回 実践発表会のお知らせ

テーマ

「共に生きる実践
～おもいを『繋ぐ』支援のあり方～」

日 時：2026年2月7日（土）
13時～17時

会 場：あいち健康プラザホール

【発表事業所】

- ・ 相生指定居宅介護支援事業所
- ・ 障がい者活動センター愛光園
- ・ 障害者支援施設まどか
- ・ 就職トレーニングセンター

【参加申込】

①左のQRコードを読み取って
申込フォームにご入力ください。



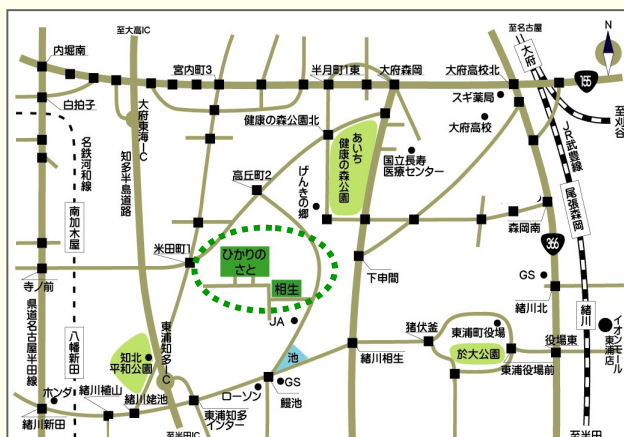
②法人ホームページ「お知らせ」欄に掲載の
「開催案内」を印刷のうえ、必要事項をご
記入いただき、FAXでお送りください。

みなさまのご参加を心よりお待ちしております。



2024年2月開催の様子

ひかりのさと アクセスマップ



- ▶ JR東海道線大府駅下車、タクシー（15分）が便利です
- ▶ 東浦町営バス（うらら）停留所「相生の丘」から徒歩2～5分

